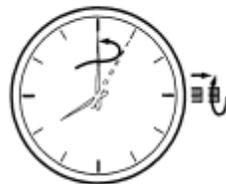


当商品について

株式会社エーアンドエスでは主に、1950～1970年代に製造された（アンティーク）時計や1980～1990年代に製造された（ヴィンテージ）時計を取り扱っています。これらの時計は製造されてからすでに数十年以上経過し、その間使用されて現在に至っていますので、機械的に多少傷んでいるものがあります。それらを修復してオーバーホールを行い、日常ご使用になれる状態にしたものを商品としています。またゼンマイを動力とした機械式時計のため、クォーツ時計と同等の精度は得られません。1日に±3分程度までの誤差は許容範囲としています。これまでの使われ方により、ムーブメント等に個体差があります。ムーブメントのチェック、オーバーホール等を行っていても予測が不可能な故障が発生する場合がありますのでご了承ください。

機械式時計のお取り扱いについて

手巻き時計



- ◇ 巻き数の目安は15～25回/1日になります。
- ◇ 巻き数が不足すると正しい精度が出ません。
- ◇ ただし、リュウズの巻き過ぎにもご注意ください。ゼンマイ切れの原因になります。ゼンマイを巻いていくと次第に重くなり巻けなくなります。この状態がゼンマイがいっぱいに巻きあがった合図ですので、通常はここまで巻き上げてください。それ以上巻くとゼンマイが切れてしまいますのでご注意ください。
- ◇ 手巻時計は全て巻き止まりがございます。
- ◇ リュウズはやさしく巻いてください。勢いよく巻くとゼンマイ切れの原因になります。
- ◇ リュウズを引き出して時刻をあわせてください。
- ◇ 1日に一度リュウズを引いて、ゼンマイを巻いてください。
- ◇ 1日1～3分の誤差が出ますのでご了承ください。

自動巻き時計

自動巻き時計は、内蔵されたローターが通常の腕の動きで回転し、ゼンマイを巻き上げる仕組みになっています。そのため腕の動きが少ない場合や使い方によっては、時計を駆動させるための十分な動力が得られずゼンマイの巻き上げ不足が生じ、時間が停止したり、精度が乱れることがあります。安定した駆動力を機械部分に伝達するために、以下のことを心がけてください。

- ◇ 1日に最低8～10時間ご使用ください。
- ◇ 使用前に止まっている状態の場合はゆっくり5～10回くらいリュウズを巻き上げてからご使用ください。

クォーツ時計のお取り扱いについて



*リュウズがねじロック式の場合は、リュウズを左に回してねじをゆるめてから操作を行なってください。操作が終わりましたら、リュウズを押しながら右に回してねじをきちんと締めてください。

㊟通常位置



①時刻修正位置

- 1) リュウズを時刻修正位置①まで引き出します。
- 2) リュウズを回して時刻を合わせます。
- 3) リュウズをきちんと通常位置まで押し込むと時計がスタートします。

クォーツ時計は機械式時計と違い、ムーブメントは新規で作成できないため、ムーブメントが入手できない場合は修理ができかねます。

オーバーホールについて

「オーバーホール」とは分解掃除のことで、機械式時計を扱っていく上で欠かせない作業です。ムーブメントをすべて分解した後、各個所に油を差しながら組み立て、調整します。細かな金属部品で構成されているムーブメントには適度な油が必要です。長期間使用していると油切れを起こし、各部の摩耗を進めることになり、その結果時間の遅れが生じたり正常に機能しなくなる可能性があり、最悪の場合は修理不可能となる恐れもあります。長くご愛用いただくために、機械式時計については2～3年に一度程度、クォーツ式時計についても5～7年に一度のオーバーホールをお勧めします。

定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。オーバーホールのご依頼は、お買い上げのショップにてお受けいたします。

オーバーホールはお客様の時計をお預かりしてからお見積りを出し、お客様のご承諾を頂いたうえで進めさせていただきます。状態によってお見積りやお時間は異なります。

衝撃・その他の注意

機械式時計であってもクォーツ時計であっても、落下などによる強い衝撃には耐えられません。特に時計の内部は非常に微小な部品でできているためショックに弱く、すぐに曲がったり折れたりすることがあります。部品のほとんどは高度な技術を持つ職人によって手作りで作成されるため、修理にはお時間を要します。(クォーツ時計の一部のパーツについては手作りでないものもございます) 場合によっては修理不可能となる恐れがあります。転倒時や他人との接触において、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますので、ご注意ください。

特に乳幼児と接する場合は、時計との接触によってケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする恐れもありますので、時計をはずされることをおすすめします。高湿の場所や極寒地でのご使用は、火傷、凍傷の原因となる場合がありますのでお止めください。またホコリの多いところへの放置は避けてください。故障を招く恐れがあります。体質により、皮膚に異常を感じたり、かぶれ等の症状が起きたりすることがあります。その際は、すぐにご使用を止めていただき、皮膚専門医にご相談ください。

磁気帯びの注意

これらの時計は現代の時計と異なり磁気の影響を受けやすいため、タブレットやスマートフォン、テレビ・パソコン・スピーカーなど磁気を帯びている電化製品等や磁石を伴うアクセサリ等、マグネットの近くには置かないようにしてください。磁気を帯びることにより正常に動作しなくなり、時間が合わなくなります。磁気によって正常に動作しなくなった時計は、磁気抜きをしなければ修復できません。磁気抜きが必要な場合は、お買上げのショップまでお持ちください。

浸水の注意

当商品において防水性はほぼありません。製造当時は防水時計として販売された時計でも、古いもの場合は裏蓋以外の隙間から水が入りこんでしまいます。ご使用にあたって、以下の点にご注意ください。

- ◇ 日頃から汗や水気が時計内部に浸入しないよう注意してください。
- ◇ 水分のついたままリュウズを回したり、引き出したりしないでください。
- ◇ 雨の日や手を洗う時などは、一旦腕から外すことをおすすめします。もし水が浸入したと思われる時は、早急にオーバーホールが必要です。そのままにしておくと機械内部に錆が広がり、修理不可能になる恐れがあります。早期発見で錆びる前であれば、オーバーホールを行うことで故障を防ぐ事ができます。

お手入れ方法

時計を長くご愛用いただく上で不可欠なのは、日頃のお手入れを含めて丁寧にお使いいただくことです。

- ◇ ご使用の過程で、専用クロスを使用してこまめに拭いていただくことをおすすめします。そのままにしておくと付着した汗などが原因で傷みがひどくなることがあります。
- ◇ 機械式時計：適度に使って適度に休めることをおすすめします。全く動かさない状態で長期間経過すると油が凝固し、正常に動かなくなる恐れがあります。ご使用にならない場合でも、ときどきリュウズを巻いて時計を動かすことが理想的です。
- ◇ クォーツ時計：電池が切れ、電池交換をしないままの保管は電池が液漏れを起こし、故障につながります。電池が切れてしまった際には、そのままにせず電池交換の修理出しを行ってください。

お修理について

商品にトラブルが生じた場合は、お買上げのショップへご相談ください。

保証について

- ◇ 保証期間内に、取扱い説明書にそった正常なご使用状態で、動作にかかわる不具合が生じた場合には、お買上げ日より1年間は無償で修理・調整をいたします。修理調整は、時計と本保証書をお買上げショップまでお持ちください。
- ◇ 保証書がない場合は有償となることがありますのでご了承ください。